



こう ずけ だい
上野臺

第2号

発行日
H17.6.21

発行元
本多上野介正純公を学ぶ市民の会
〒013-8601
秋田県横手市中央町8-2
横手市総務部政策調整課内
TEL 0182-32-2111 (内線365)

※かつて本多上野介正純が横手での余生を過ごした高台が、現在も「上野台（こうずけだい）」と呼ばれている。

瓦に託す正純の無念

7月24日、記名式開催へ

「よみがえれ！宇都宮城 市民の会」で実施している瓦・柱募金に協力する形でこの4月より開始した当会の募金活動。現在、徐々に募金が集まってきておりますが、瓦募金につきましては、今年7月20日（水）をもって第1次募集を終了することになりました。

瓦募金の終了に合わせ宇都宮城市民の会では、瓦募金に協力して下さった方々に、瓦に直接、記名する機会を提供するため、来る7月24日（日）、横手市で記名式を開催することとしております。

宇都宮城の復元に利用される瓦へは、募金いただいた方のお名前や正純公への思いなど自由にご記載できますので、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。



■宇都宮城市民の会御一行様（10名予定）来横日程■

平成17年7月23日（土）～24日（日）

■記名式■

開催日時 7月24日（日）午前10時30分～11時30分ごろ

場 所 横手公園武者溜り

集合時間 7月24日（日）午前10時15分まで、「武者溜り噴水前」にお集まりください。

■募金について■

□瓦募金：1口 3,000円

□柱募金：1口 10,000円

※宇都宮城市民の会が実施しております「瓦募金」につきましては、今年8月末日をもって募集終了となります。なお、7月25日（月）以降、募金をいただいた場合は、当会事務局が責任をもって預かり、宇都宮城市民の会へお渡しいたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

大沢郷研修特集

指定史跡「旧亀田街道」1.3kmを 歩きながら感じたこと

指定史跡「旧亀田街道」の北側入り口に到着。バスは、旧街道が切れたところに回送されることになった。伊藤松五郎さんが「御番所跡までは大きい枝を寄せたけれど、それから先やっていなかったな」と言う。予定が変更になったのだろう。すると亀田街道を守る会のお一人が「俺が昨日やっておいた」とさりとらと応じた。守る会の人たちの心遣いに心が温かくなった。

杉並木の旧亀田街道を歩き始めると、地面は柔らかに足裏を受けとめてくれる。すごく気持ちがいい。ここに来る前に案内していただいた強首から赤坂へ向かう道路脇の旧街道の一部はまさに「穴道」と言われた旧街道を実感させるものであった。しかし、今歩いている旧街道は両側の杉並木よりは若干低いものの「穴道」とまではいかない。長年にわたって杉の枯葉などが積み重なって浅くなったのか、人為的に埋め戻されたものなのかは聞き漏らした。

往時、正純公一行がこの道を通ったとき、杉並木はあったのだろうか、それとも荒涼とした原野に刻まれた一筋の溝だったのだろうか。季節は晩秋になろうとしている時節、正純公の胸中にはいかなる思いが去来していたのだろうか。さまざまなことが脳裏をかすめていく。それにしても、わずか1.3kmといえ現在までよく保存されていたものだと感心していたが、陸軍省の演習場が旧街道の西側に隣接していたことが保存に繋がったとの説明を聞いて納得した。そのことを戦後60年経た今に伝えている「⑥ 陸」と刻印されたコンクリートの標柱＝写真左＝が1本、しっかりと杉の根に抱かれて残っていた。

御番所跡に残る道標石は、当時この付近が秋田、八嶋、亀田各藩の領地が入り組んでいたことの一端を示しているように感じた。旧街道をはずして復元した木の門は止むを得ない苦肉の策だったと伊藤さんが言っておられた。御番所跡からしばらく歩いて上野台から南下する道路に斜めに入り込む地点で史跡指定区間は終わりを告げた。

この街道のルートを特定し、それを維持保存するために努力している亀田街道を守る会の皆さんの熱意が、現地大沢郷を案内していただいて改めて強く伝わってきたし、「正純公を学ぶ市民の会」も学ぶだけではなく、そろそろ地元でのアクションを起こさなければと感じた1.3kmの行程であった。

(市民の会幹事 廣瀬健一)



江戸時代の風情を醸す 旧亀田街道」、集落を潤す清冽な湧き水 雄清水・雌清水」、そして正純公が暫くの時を過ごした 配所跡」…。去る五月二十二日、当市民の会では、正純公ゆかりの大沢郷を訪ね、正純公の足跡を辿ってまいりました。その一部をご報告いたします。



参加者全員で記念撮影＝御番所跡前にて



学習会講師の佐藤好攻氏。正純公への思いの一端を披露いただいた。

大沢郷研修特集



今回の研修会に精力的に協力いただいた伊藤松五郎氏。



17年度総会・学習会から



講演する高橋信一さん

去る4月9日、市内働く婦人の家2階講堂にて平成17年度総会と学習会が、46名の会員の参加を得て開催されました。

総会では、平成16年度事業報告と決算、平成17年度事業計画などが話し合われ、今年度は歴史勉強会の開催、正純公ゆかりの宇都宮市との交流及び宇都宮城復元募金への協力、旧西仙北町大沢郷への現地研修会が事業の柱としてそれぞれ了承されました。

引き続き行われた学習会では、東北電力秋田電友会歴史探訪同好会の高橋信一さんを講師にお招きし、「本多上野介始末 ～ 非情な政争の敗者と汚名の無残 ～」と題した講演を伺い、高橋さんの歯切れのよい語り口にひき込まれると同時に「終焉の地」石碑を巡る事柄に対する貴重なご意見も頂き、非常に中身の濃い、意義のある学習会となりました。

☆会員の更新はお済みですか？

平成17年度会員の募集は随時受け付けています。本多上野介正純公を学ぶ市民の会では、今後もさまざまな活動を行っていきますので、まだ、更新のお済みでない方は市役所政策調整課（32-2111（内366））までご連絡ください。年会費は千円です。

編集後記



お陰様で会報第2号を発行することが

できました。ありがとうございます。大沢郷研修特集如何でしょうか。

伊松さんには大変お世話になりました。

雪消えを待って旧矢島町の高建寺を訪ねました。ご住職は、「本多公について、横手で学ぶ会が結成されたことをうれしく思う。本多家に関わりある旧本荘市内の滝沢家と河村家には縁の品があり、是非ご覧になって下さい」と勧めてくれました。機会をみて両家を訪ねたいと思っています。



たけのこ汁もごちそうになりました